

令和 6 年度

事業報告書

貸借対照表

正味財産増減計算書

及び財産目録等

公益財団法人 有隣会

事業報告書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

本会の主要事業となっている「語らい座 大原本邸」事業は開始以来7年となった。

「語らい座 大原本邸」は大原孫三郎、總一郎をはじめとする大原家の事績、思想を伝えるとともに、ここを訪ねる人々の今後に役立つ「気付き」を与える「場」となることを目的としている。その入館者数は本年度、3期連続で過去最多となった。

また「語らい座 大原本邸」にて開催する教育支援事業「くらしき未来 K 塾」、「くらしき町家留学」においては、小・中学生を中心に参加者が前年比倍増した。

その他では、大原家資料の整理事業において、資料のデジタル化を開始し、継続して実施することとしている。

財務面では、入館料収入をはじめとする事業収益は 31,090 千円 (前年比△135 千円)。一方で人件費等の増加により経常費用は 63,571 千円(同+2,321 千円)。会費収入 4,140 千円、寄附金収入 27,020 千円等をあわせ、当期一般正味財産増減額(指定正味財産からの振替前)は△1,301 千円となった。なお、期末正味財産は 10,912 千円である。

主な活動は以下のとおり。

1. 語らい座 大原本邸事業

(1) 入館者数、入館料収入等

「語らい座 大原本邸」の入館者数は47,185人(前年比+1,599人)と過去最高となった。コロナ以降の旅行需要の回復に併せ、外国人入館者(5,222人、前年比+1,930人)の増加、また教育プログラム参加者の増加が寄与している。

入館料収入は22,104千円(前年比△1,194千円)、その他カフェ収入7,523千円(同+1,059千円)、セミナー収入1,462千円(同△1千円)となった。

<入館者数(有料)>

(人)

平成30年	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
33,360	32,140	16,670	16,734	38,465	45,586	47,185

(2) 教育事業・教育プログラム

「語らい座 大原本邸」は、倉敷美観地区を訪れる観光客その他の受入とともに、「社会に開かれた学校」、「未来育て」の場として、二つの教育プログラムを実施している。

①くらしき未来K塾

「社会に開かれた学校」を目指し、広く一般を対象として開催する「くらしき未来K塾」では、わかりやすく、人気のある講師を招聘した講座や、開催中の特別展の解説、チェロコンサート等、多彩な内容での開催となった。

なお、当館の開館以来開催してきた「くらしき未来K塾」は本年度で一旦終了し、次年度からは名称、内容を変更し、新たなプログラムを開催する。

<くらしき未来K塾 開催状況>

回	開催日	テーマ(演題)	講師	参加人数
44回	令和6年 7月23日	特別展セミナー 「大原家に残る書簡の数々 ～学生児島虎次郎からの書簡～」	水島 博 語らい座 大原本邸 学芸員	10
45回	8月24日	オモロジカル・シンキング のススメ(前半)	越前屋依太氏 文筆家・書家	16

46回	9月28日	オモロジカル・シンキング のススメ（後半）	越前屋俵太氏 文筆家・書家	13
47回	11月17日	紅葉コンサート in 大原本邸	三船文彰氏 三船歯科医院院長 ・チェリスト Clara Mifune Hwang氏 ピアニスト 広中孝氏 ピアニスト 蔡佩真氏 ピアニスト	25
48回*	12月7日	高校生と探Qする倉敷の未来 「商いは文化だ-この地から生 まれた商いの道とあきんど魂-」	大原謙一郎氏 大原家九代目当主	35
49回	令和7年 1月18日	特別展セミナー 「大原家に残る書簡の数々 ～大原総一郎宛白桃礼状～」	水島博 語らい座 大原本邸 学芸員	6
合 計				105

*48回は倉敷市内の高校8校の生徒会交流会との合同開催。

②くらしき町家留学

大原孫三郎、總一郎の事績や社会貢献思想を学び、また倉敷美観地区について理解を深めるとともに、それらをきっかけとして探求心を養い、また自らの課題を考える研修プログラム。

本プログラムでは「語らい座 大原本邸」を中心に、参加者のニーズに合わせ、大原美術館、倉敷民藝館、倉敷考古館、倉紡記念館等の大原家関連施設を巡っている。

当年度は倉敷市による施設入館料の補助拡大（「いきいきパスポート」）により、小・中学生の利用が増加し、参加者は1,228人（昨年比+585人）となった。

開催日	種別	参加者	参加人数
令和6年 4月5日	新入社員研修	(株)倉敷国際ホテル・倉敷開発(株)	11
4月24日	新入社員研修	第一生命保険(株)	16
6月5日	高校生研修	岡山県立倉敷中央高校	276

6月6日	高校生研修	開成高校	54
10月19日	小中学生研修	津山高専 STEAM 教育事業	7
10月9・16日	新入社員研修	(株)中国銀行	106
10月31日	小学生研修	倉敷市立蘭小学校	30
11月1日	一般研修	第一生命保険(株)	20
11月14日	中学生研修	倉敷市立黒崎中学校	4
11月20日	小学生研修	岡山市立蛸明小学校	15
11月26・29日	小学生研修	倉敷市立大高小学校	137
12月5日	小学生研修	倉敷市立倉敷東小学校	71
令和7年 1月17日	中学生研修	倉敷市立連島中学校	17
1月29日	新入社員研修	第一生命保険(株)	20
2月1日	小学生研修	倉敷市立倉敷西小学校	52
2月7日	小学生研修	倉敷市立連島東小学校	39
3月4日	中学生研修	倉敷市立倉敷南中学校	353
合計			1,228

(3) 特別展

大原家に残る書簡、その他の資料整理、研究の成果発表として、次の特別展を開催した。
特別展開催期間中には、くらしき未来K塾においてその解説講座を開催した。

期 間	テーマ
令和6年 7月9日～8月4日	大原家に残る書簡の数々 ～学生児島虎次郎からの書簡～
令和7年 1月7日～2月2日	大原家に残る書簡の数々 ～大原総一郎宛白桃礼状～

2. 大原孫三郎・總一郎記念講演会

本講演会は、大原孫三郎によって明治 35 年創設され、大正 14 年まで 76 回開催された「倉敷日曜講演」に始まり、「敬堂記念講演会」、そして現在の「大原孫三郎・總一郎記念講演会」と名前を変え、有隣会の主要行事となっている。

令和 6 年度は、「第 68 回大原孫三郎・總一郎記念講演会」及びプレセッションを次のとおり開催した。

日 時 令和 6 年 7 月 26 日(金) 18:30~20:00

場 所 倉敷公民館 大ホール

講 師 三浦 篤 氏 (大原美術館 館長)

演 題 「美術史と異文化交流ー『移り棲む美術』から大原特別展へー」

〈プレセッション〉

日 時 令和 6 年 7 月 26 日(金) 16:00~17:00

場 所 語らい座 大原本邸 ブックカフェ

参加者 美術部の高校生外

3. 所蔵資料の整理、調査、研究及び公開

大原家が所蔵している大原孫三郎・總一郎に関する書簡・書籍など諸資料の分類整理を継続的に行っている。

本年度においては約 2,000 点の資料整理を行うとともに、既整理分約 27,000 点の内、約 900 点のデジタル化を実施した。

4. 大原總一郎日記研究会

大阪大学名誉教授 阿部武司氏を中心とする 9 名の研究者グループにより、大原總一郎日記 (全 111 冊) の研究を継続しており、本年度は 3 回の研究会を開催し、仮翻刻第 6 冊 (日記 No.21~24) を刊行した。

また、研究者による研究成果の報告会を開催した。

《大原總一郎日記研究会 研究報告会》

開催日 令和 7 年 3 月 8 日

場 所 語らい座 大原本邸 ブックカフェ

報告者	テーマ
千本 暁子 氏 (阪南大学 名誉教授)	大原孫三郎の教育事業とその成果 －小学校就学率に着目して－
阿部 武司 氏 (大阪大学 名誉教授) 結城 武延 氏 (東北大学 准教授)	企業経営者としての大原孫三郎 －工場配置戦略を中心として－

以上

*事業報告の附属明細書はありません。

貸借対照表

2025年 3月31日現在

公益財団法人 有隣会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	39,222,515	36,309,427	2,913,088
売掛金	217,860	58,920	158,940
商品	0	20,898	△ 20,898
流動資産合計	39,440,375	36,389,245	3,051,130
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金(基本財産)	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2) 特定資産			
普通預金(特定資産)	0	0	0
退職給付引当資産	0	0	0
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
建物	99,445,110	106,192,122	△ 6,747,012
建物附属設備	34,554,140	41,552,408	△ 6,998,268
構築物	3,546,949	4,192,297	△ 645,348
機械及び装置	8	8	0
器具及び備品	4,991,213	7,282,781	△ 2,291,568
商標権	281,920	375,880	△ 93,960
その他固定資産合計	142,819,340	159,595,496	△ 16,776,156
固定資産合計	145,819,340	162,595,496	△ 16,776,156
資産合計	185,259,715	198,984,741	△ 13,725,026
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	0	208,387	△ 208,387
預り金	102,697	356,008	△ 253,311
未払消費税等	1,344,700	306,900	1,037,800
流動負債合計	1,447,397	871,295	576,102
2. 固定負債			
長期借入金	172,900,000	185,900,000	△ 13,000,000
固定負債合計	172,900,000	185,900,000	△ 13,000,000
負債合計	174,347,397	186,771,295	△ 12,423,898
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
国庫補助金	7,765,532	9,066,660	△ 1,301,128
定期預金(基本財産)	3,000,000	3,000,000	0
受贈投資有価証券	0	0	0
指定正味財産合計	10,765,532	12,066,660	△ 1,301,128
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
2. 一般正味財産	146,786	146,786	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	10,912,318	12,213,446	△ 1,301,128
負債及び正味財産合計	185,259,715	198,984,741	△ 13,725,026

正味財産増減計算書

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

公益財団法人 有隣会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	4,140,000	4,090,000	50,000
特別会費	3,500,000	3,500,000	0
普通会費	250,000	200,000	50,000
賛助会費	390,000	390,000	0
事業収益	31,090,555	31,225,707	△ 135,152
受取入館料	22,104,805	23,299,107	△ 1,194,302
記念館事業収益	8,985,750	7,926,600	1,059,150
カフェ収益	7,523,500	6,462,500	1,061,000
セミナー収益	1,462,250	1,464,100	△ 1,850
受取補助金等	1,301,128	110,272	1,190,856
受取助成金	0	699,600	△ 699,600
受取寄附金	27,020,000	25,120,000	1,900,000
雑収益	1,900	4,000	△ 2,100
雑収益	1,900	4,000	△ 2,100
受取利息	17,420	343	17,077
経常収益計	63,571,003	61,249,922	2,321,081
(2) 経常費用			
事業費	61,452,984	58,952,312	2,500,672
人件費	27,398,550	25,873,282	1,525,268
法定福利費	2,624,195	2,320,847	303,348
福利厚生費	413,804	518,423	△ 104,619
材料仕入	2,015,867	1,870,183	145,684
水光熱費	1,575,394	1,400,519	174,875
清掃費	207,306	230,362	△ 23,056
修繕費	121,000	35,530	85,470
諸謝金	373,236	716,339	△ 343,103
旅費交通費	899,344	760,150	139,194
通信運搬費	388,051	522,690	△ 134,639
印刷製本費	999,097	1,029,511	△ 30,414
会議費	5,664	0	5,664
広報費	481,050	180,000	301,050
賃借料	408,000	422,400	△ 14,400
リース料	551,100	523,446	27,654
消耗品費	1,175,662	642,870	532,792
諸会費	99,000	91,500	7,500
租税公課	2,966,100	2,183,080	783,020
保険料	21,840	18,790	3,050
手数料	203,422	209,545	△ 6,123
セミナー費	207,750	371,050	△ 163,300
雑費	64,640	89,638	△ 23,898
減価償却費	16,776,156	18,568,056	△ 1,791,900
業務委託費	999,900	39,000	960,900
会場関係費	193,960	156,556	37,404
接遇費	282,896	177,295	105,601
雑損失	0	1,250	△ 1,250

管理費	2,118,019	2,297,610	△ 181,171
通信運搬費	164,131	156,266	7,865
印刷製本費	6,580	0	6,580
会議費	0	36,316	△ 36,316
消耗品費	0	43,307	△ 43,307
手数料	1,375	1,375	0
雑費	130,030	95,980	32,470
支払利息	1,815,903	1,964,366	△ 148,463
経常費用計	63,571,003	61,249,922	2,321,081
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0
基本財産評価損益等	0	0	0
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
固定資産除却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却損	0	0	0
固定資産除却損	0	0	0
過年度遡及特別損失	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	146,786	146,786	0
一般正味財産期末残高	146,786	146,786	0
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	△ 1,301,128	△ 110,272	△ 1,190,856
受取国庫補助金	△ 1,301,128	△ 110,272	△ 1,190,856
受取寄附金	0	0	0
受取寄附金	0	0	0
基本財産運用益	0	0	0
基本財産受取配当金	0	0	0
基本財産評価益	0	0	0
基本財産評価益	0	0	0
基本財産評価損	0	0	0
基本財産評価損	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	△ 1,301,128	△ 110,272	△ 1,190,856
指定正味財産期首残高	12,066,660	12,176,932	△ 110,272
指定正味財産期末残高	10,765,532	12,066,660	△ 1,301,128
III 正味財産期末残高	10,912,318	12,213,446	△ 1,301,128

正味財産増減計算書内訳表

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

公益財団法人 有隣会

(単位：円)

科 目	公1			法人会計 (有隣会)	合計
	大原本邸事業	有隣会継続事業	小計	法人会計	
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
受取会費	0	4,140,000	4,140,000	0	4,140,000
特別会費	0	3,500,000	3,500,000	0	3,500,000
普通会費	0	250,000	250,000	0	250,000
賛助会費	0	390,000	390,000	0	390,000
事業収益	28,972,536	0	28,972,536	2,118,019	31,090,555
受取入館料	19,986,786	0	19,986,786	2,118,019	22,104,805
記念館事業収益	8,985,750	0	8,985,750	0	8,985,750
受取補助金等	1,301,128	0	1,301,128	0	1,301,128
受取寄附金	13,520,000	13,500,000	27,020,000	0	27,020,000
雑収益	900	1,000	1,900	0	1,900
雑収益	900	1,000	1,900	0	1,900
受取利息	15,291	2,129	17,420	0	17,420
経常収益計	43,809,855	17,643,129	61,452,984	2,118,019	63,571,003
(2) 経常費用					
事業費	51,183,792	10,269,192	61,452,984	0	61,452,984
人件費	21,520,738	5,877,812	27,398,550	0	27,398,550
法定福利費	1,538,204	1,085,991	2,624,195	0	2,624,195
福利厚生費	0	413,804	413,804	0	413,804
材料仕入	2,015,867	0	2,015,867	0	2,015,867
水光熱費	1,575,394	0	1,575,394	0	1,575,394
清掃費	207,306	0	207,306	0	207,306
修繕費	121,000	0	121,000	0	121,000
諸謝金	373,236	0	373,236	0	373,236
旅費交通費	40,740	858,604	899,344	0	899,344
通信運搬費	342,436	45,615	388,051	0	388,051
印刷製本費	812,218	186,879	999,097	0	999,097
会議費	5,664	0	5,664	0	5,664
広報費	261,050	220,000	481,050	0	481,050
賃借料	346,800	61,200	408,000	0	408,000
リース料	551,100	0	551,100	0	551,100
消耗品費	1,149,476	26,186	1,175,662	0	1,175,662
諸会費	69,000	30,000	99,000	0	99,000
租税公課	2,966,100	0	2,966,100	0	2,966,100
保険料	21,840	0	21,840	0	21,840
手数料	127,962	75,460	203,422	0	203,422
セミナー費	207,750	0	207,750	0	207,750
雑費	54,300	10,340	64,640	0	64,640
減価償却費	16,776,156	0	16,776,156	0	16,776,156
業務委託費	0	999,900	999,900	0	999,900
会場関係費	34,045	159,915	193,960	0	193,960
接遇費	65,410	217,486	282,896	0	282,896
管理費	0	0	0	2,118,019	2,116,439
通信運搬費	0	0	0	164,131	164,131
印刷製本費	0	0	0	6,580	6,580
手数料	0	0	0	1,375	1,375
雑費	0	0	0	130,030	128,450
支払利息	0	0	0	1,815,903	1,815,903
経常費用計	51,183,792	10,269,192	61,452,984	2,118,019	63,571,003
評価損益等調整前当期経常増減	△ 7,373,937	7,373,937	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 7,373,937	7,373,937	0	0	0

2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替額	2,118,019	△ 82,500	2,035,519	△ 2,035,519	0
当期一般正味財産増減額	△ 5,255,918	7,291,437	2,035,519	△ 2,035,519	0
一般正味財産期首残高	183,916,276	91,320,217	275,236,493	△ 275,089,707	146,786
一般正味財産期末残高	178,660,358	98,611,654	277,272,012	△ 277,125,226	146,786
II 指定正味財産増減の部					
受取補助金等	△ 1,301,128	0	△ 1,301,128	0	△ 1,301,128
受取国庫補助金	△ 1,301,128	0	△ 1,301,128	0	△ 1,301,128
当期指定正味財産増減額	△ 1,301,128	0	△ 1,301,128	0	△ 1,301,128
指定正味財産期首残高	△ 77,943,367	0	△ 77,943,367	90,010,027	12,066,660
指定正味財産期末残高	△ 79,244,495	0	△ 79,244,495	90,010,027	10,765,532
III 正味財産期末残高	99,415,863	98,611,654	198,027,517	△ 187,115,199	10,912,318

財産目録

2025年 3月31日現在

公益財団法人 有隣会

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金		運転資金	615,832	
	預金	普通預金 中国銀行倉敷駅前支店	運転資金	13,049,496	
		普通預金 中国銀行倉敷駅前支店	運転資金	25,557,187	
	売掛金		入館料等	217,860	
流動資産合計				39,440,375	
(固定資産) 基本財産	定期預金(基本財産)	定期預金 中国銀行倉敷駅前支店	公益目的保有財産で、運用益を公益目的事業の財源として使用している	3,000,000	
	その他の固定資産	建物	語らい座 大原本邸	公益目的保有財産で、運用益を公益目的事業の財源として使用している	99,445,110
		建物附属設備	語らい座 大原本邸	公益目的保有財産で、運用益を公益目的事業の財源として使用している	34,554,140
		構築物	語らい座 大原本邸	公益目的保有財産で、運用益を公益目的事業の財源として使用している	3,546,949
		機械及び装置	語らい座 大原本邸	公益目的保有財産で、運用益を公益目的事業の財源として使用している	8
		器具及び備品	語らい座 大原本邸	公益目的保有財産で、運用益を公益目的事業の財源として使用している	4,991,213
		商標権		公益目的保有財産	281,920
	固定資産合計				145,819,340
資産合計				185,259,715	
(流動負債)	預り金		源泉所得税、社会保険料等	102,697	
	未払消費税			1,344,700	
流動負債合計				1,447,397	
(固定負債)	長期借入金	個人より借入	記念館事業における設備投資の為	172,900,000	
固定負債合計				172,900,000	
負債合計				174,347,397	
正味財産				10,912,318	

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし。

2. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式による。

(2) 固定資産の減価償却の方

有形固定資産

建物、建物附属設備、構築物は定額法によっている。

上記以外の有形固定資産は定率法によっている。

無形固定資産

定額法によっている。

3. 会計方針の変更

該当なし。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
現金預金	3,000,000	0	0	3,000,000
特定資産	0	0	0	0
合 計	3,000,000	0	0	3,000,000

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する 額)
基本財産				
定期預金	3,000,000	3,000,000	0	0
合 計	3,000,000	3,000,000	0	0

6. 担保に供している資産

該当なし。

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(直説法により減価償却を行っている場合)

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
その他の固定資産			
建物	146,674,199	47,229,089	99,445,110
建物附属設備	83,542,011	48,987,871	34,554,140
構築物	8,064,360	4,517,411	3,546,949
機械及び装置	4,918,320	4,918,312	8
器具及び備品	49,226,950	44,235,737	4,991,213
無形固定資産	4,957,280	4,675,360	281,920
合 計	297,383,120	154,563,780	142,819,340

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高
(貸倒引当金を直接控除した残額のみを記載した場合)
該当なし。

9. 保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。)等の偶発債務
該当なし。

10. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当なし。

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
該当なし						
合計		0	0	0	0	

12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高
該当なし。

13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

記念館事業に対する国庫補助金のうち1,301,128円を一般正味財産に振替。

14. 関連当事者との取引の内容

属性	氏名	取引内容	勘定科目	取引金額	金利
評議員	大原謙一郎	資金の借入	長期借入金	172,900,000	元金の1%

15. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引
該当なし。

16. 重要な後発事象
該当なし。

17. その他
財務諸表に対する注記に同様の記載があるため、計算書類の附属明細書の記載を省略している。